

古典文法トレーニング（改訂版） 長文課題 品詞分解と現代語訳

大問七（出典：『十訓抄』）

◎品詞分解（名詞は基本的に非表示。非活用語は基本的に初出のみ。同色の助詞は同内容を示す。）

一条天皇格助(名)体の御時、四納言格助(名)体と聞こえし人々、寄り合ひて、蹴鞠会ありけるに、懸りの外に鞠格助(主格)上二用の落ちて

ありけるを、その中に公任卿、この鞠を、大臣、大将の子ならさらむ人、とるべし」と、言はれたりければ、

行成卿申さ謙(作者)公任 尊敬(作者)行成・用過去・体れける、「短命こそ口惜しけれ。少将、生きたらましかば、三公の位をば嫌は

か格助(名)体の行成卿は、摂政伊尹公これたの御子、少将義孝の御子なり。短命にしてとく失せ給ひければ、大臣、

大将ラ四・未打消・終にのほらず。それを思はへて、公任卿申さ謙(作者)行成 尊敬(作者)公任・体終助・疑問るるか。

◎現代語訳（↓『ステップアップノート30 古典文法トレーニング』参照）